科目名:日本学メソドロジー実践/ Practical Methods in Japanese Studies

曜日·講時:前期 火曜日 1講時 文学研究科棟 6F 607 演習室

セメスター:1 学期, 単位数:2

担当教員:オムニバス (尾崎 彰宏 教授 外)

使用言語:日本語

1. 授業題目:

「日本学」への実践的なアプローチに向けて

2. Course Title (授業題目):

A Practical Approach to New Methodologies of Japanese Studies

3. 授業の目的と概要:

メソドロジー実践科目は、メソドロジー基盤科目を受けて、プログラムに参加している教員が、東北大学の「日本学」をどのように考え、具体的にどのようなアプローチが可能なのか。その研究の具体的な断面を1回ずつ担当することで講じる。このオムニバス形式の講義では、現代に生きる私たちにとって、個々の研究がどのような意義をもつのか、そしてそれがどのような新しい価値の創造とかかわるのか具体的に示されることになろう。プログラム生は、これらの実践的な取組みを参考にして、現代の課題に取り組む「日本学」について理解を深めていくことができる。

4. 学習の到達目標:

各回異なる教員の授業を聴講することで「活動的生」(vita activa) としての学問に対する姿勢を学ぶ。そして、その経験を通してプログラム生もその実戦に参加できるようにする。

5. 授業の内容・方法と進度予定:

- 1 「序:春画のインパクト」Introduction: The Impact of Shunga 尾崎彰宏 教授
- 2 オリオン クラウタウ 准教授
- 3 「政治思想史」 History of Political Thought 鹿子生浩輝 教授
- 4 文化人類学の方法論と実践 Methods and Practices in Cultural Anthropology 越智郁乃 准教授
- 5 「日本の弓術」を読む (Reading Zen in the Art of Archery)鷲谷洋輔 准教授
- 6 デレーン アリーン 准教授
- 7 歴史資料としての造形言語一旧石器時代における死生観を通じて一 Visual language as historical materials: Through the perspective of life and death in the Paleolithic era 芳賀満 教授
- 8 社会学の方法と実践——問いからはじめる社会運動論 Methods and practices of sociology: Social movement theory starting from setting the question 青木聡子 准教授
- 9 「外国文学研究と日本学」Foreign Literature Studies and Japanese Studies 黒岩卓 教授
- 10 仏教の世界観とその表象 Buddhist worldview and its representation 長岡龍作 教授
- 11 日本近現代史研究と現代社会 Japanese Modern History Research and Contemporary Society 安達宏昭 教授
- 12 クレイグ クリストファー 准教授
- 13 心理・神経言語学の方法論 Methodology of psycho- and neurolinguistics 木山幸子 准教授
- 14 「いかにして学際領域で研究すればよいのか?―経済史・経営史の事例―」How can we do research in interdisciplinary fields?: The Case of Economic History and Business History 結城武延 准教授
- 15 「嗅ぐことと書くこと:日本嗅覚文化の研究と執筆」How to Grasp the Ungraspable: Writing a Book about Scent, Philosophy and Japan ローレンヴォ マリヌッチ 准教授

6. 成績評価方法:

出席50%、レポート(課題「これまで「だれも立てたことのない問い」を自分で設定し論じなさい」(4000字程度))

7. 教科書および参考書:

教室で指示

8. 授業時間外学習:

教室で指示

9. その他:

受講生は、特別授業として、7月2日(火)16:10~17:50に実施される、南山大学のエンリコ・フォンガロ教授による「西田幾多郎と死」を聴講すること。詳細は授業の最初の「序」に譲る。